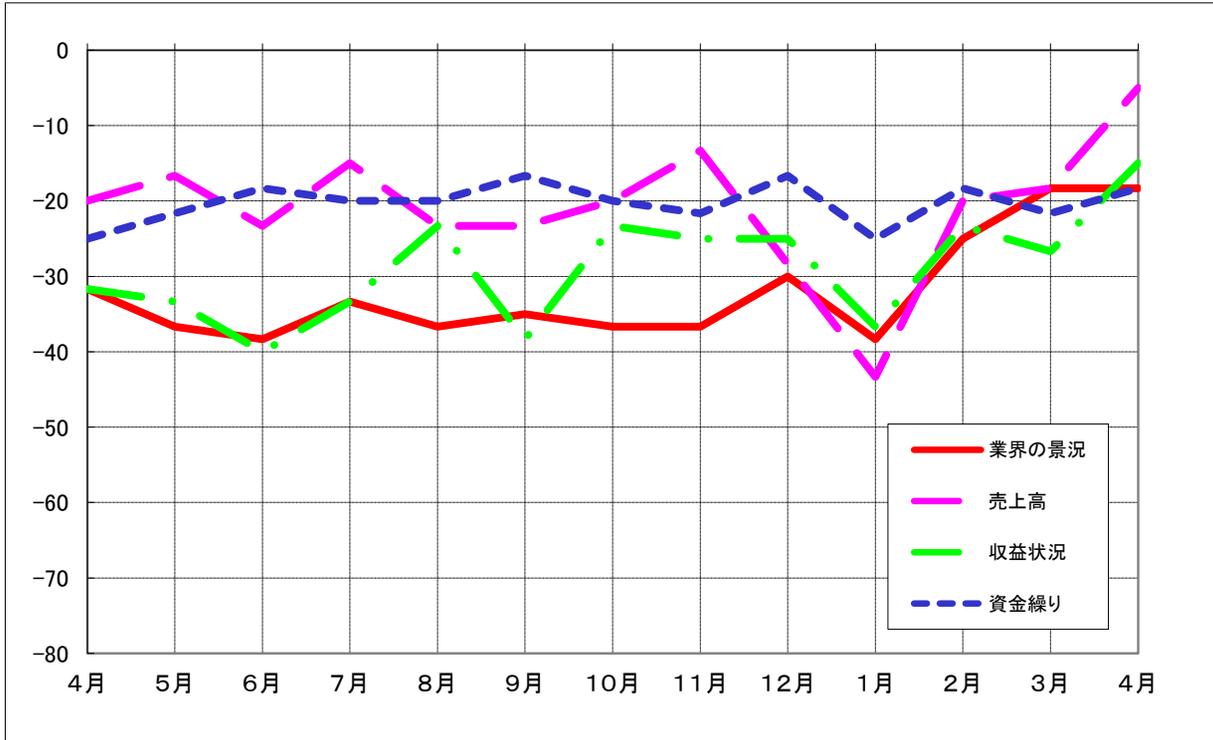


業界の景気動向(前年同月比)全業種DI値 平成24年4月～平成25年4月

単位:ポイント



	H24				H25								
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月
業界の景況	-31.7	-36.7	-38.3	-33.3	-36.7	-35.0	-36.7	-36.7	-30.0	-38.3	-25.0	-18.3	-18.3
売上高	-20.0	-16.7	-23.3	-15.0	-23.3	-23.3	-20.0	-13.3	-28.3	-43.3	-20.0	-18.3	-5.0
収益状況	-31.7	-33.3	-40.0	-33.3	-23.3	-38.3	-23.3	-25.0	-25.0	-36.7	-23.3	-26.7	-15.0
資金繰り	-25.0	-21.7	-18.3	-20.0	-20.0	-16.7	-20.0	-21.7	-16.7	-25.0	-18.3	-21.7	-18.3

○4月のDI値は前月と比べ、3項目で改善した。「売上高」DI値は13.3ポイント、「収益状況」DI値は11.7ポイント、「資金繰り」DI値は3.4ポイントそれぞれ改善した。「業界の景況」DI値は変わらなかった。前年同月と比べると、「業界の景況」DI値は13.4ポイント、「売上高」DI値は15ポイント、「収益状況」DI値は16.7ポイント、「資金繰り」DI値は6.7ポイントそれぞれ改善した。製造業では、業種によってバラつきがあるものの、受注は低調で依然として厳しい経営環境が続いている業種が多く見られる。非製造業では、低温や天候不順等の影響により、客足が伸び悩み、春物商戦が振るわない状況が見られる。総じて、先行きを期待する声がある一方、円安の影響による資材等の価格上昇を懸念する声も多い。

○組合の特記事項からは、製造業では、外衣製造業から、小売価格が上がらない以上、良くなる兆しは見えないとの声が、作業工具製造業からは、アベノミクスによる円安の影響で輸入品が値上がりする一方、作業工具や利器工匠具などの輸出品は販売量の増加と採算性の改善が見られるとの声が出ている。非製造業では、商店街から、一向に上がらない気温と同じく、景気改善の兆しは感じられないとの声が、砂利採取業からは、公共工事の発注が続いており、今後は売上増加の傾向にあるが、燃料高騰やダンプトラック不足から、6月以降の値上げが見込まれるとの声が出ている。